

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和(元)年度
		キーボード入力による「書くこと」の代替手段の獲得
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	キーボード入力によるリーフレット作り
	授業の目標	キーボード入力やプレゼンテーションアプリの操作に慣れ、書くことの代替手段として活用することができる。
	学力の3要素	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input checked="" type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input checked="" type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (4)年 (1)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input checked="" type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input checked="" type="checkbox"/> 読むこと <input checked="" type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 ひらがなは読むことができるが、拗音が入るとつまづく。 書くことが苦手で、拒否感がある。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(<input checked="" type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援) 自分の興味のあることについて、プレゼンテーションアプリに入力しまとめる活動を通して、代替手段の獲得を目指した。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	・使用した支援機器: タブレット端末(Windows10), キーボード ・プレゼンテーション作成ソフト: 「伝えるチカラPRESS」(スズキ教育ソフト)
授業展開	授業展開・支援の手立て	授業時数: 6時間 手立て ①単元の前半は、キーボード入力ソフト及びローマ字表を活用し、入力の仕方を学習した。 ②単元の後半に、プレゼンテーションアプリを活用し、興味があることについてリーフレットでまとめる活動を実施した。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	キーボード入力ソフトを活用することで、徐々に入力の速度が早くなった。自分の興味のある内容を調べて入力する際、同じキーワードを何度も入力する機会があり、特定のキーワードについては、ローマ字表を見ずに入力できるようになった。毎回、母音「A・I・U・E・O」を確認してから学習することでローマ字の仕組みに気づき、4時間目からはローマ字表を見ずに、ひらがな入力ができるようになった。パソコンを活用して表現することに自信が付き、プレゼンテーションアプリを活用したリーフレット作りを通して、文章や画像で表現する意欲が高まった。プレゼンテーションアプリの操作方法を習得し、総合的な学習の時間での調べ学習でも活用することができた。